

平成 30 年度 浜高だより（9 月）

地域に貢献できる人材を育てるために

校長 榆 木 伸 司

今年度初めて第 55 回クッチャロ湖水祭りとタイアップして、本校の第 61 回学校祭クラスパフォーマンスを湖畔広場にて披露することになりました。お互いの「祭り」のメリットを活かし、奇しくも北海道開拓 150 年の節目の年に開催できたことは、とても不思議な縁を感じています。結果は「大成功」。生徒はこれまでより多い観衆を前に集中度も高まり、練習の成果を発揮して高校生の持つエネルギーを伝えていたと思っています。

校長という立場からすると、生徒の姿を地域の方に見てもらうことは何よりも嬉しいことです。本校がこれまで取り組んできた地域に積極的に出て交流を深める活動は、地域住民にとってこの上ない楽しみであったり、ある種生き甲斐になっていたりと感じています。生徒側から見ても相手の立場を踏まえ、共感的な視点で応対する経験は非常に大切であり、社会で「共存」する意味：お互いを理解し、補完し合って成り立っていることを知ることは、地域創生・地域貢献の大きな息吹となると感じています。若者世代も高齢者世代も自分が誰かの役に立っていると実感することで、お互いの自己肯定感や生きる意欲を育み、生徒にとっては社会性が増すことにより、「大人」へと成長する機会にもなっています。

学校はこれから後期を迎えます。これから 3 年生は進路実現、2 年生は見学旅行、1 年生は学力向上と大きな課題に向かっていきます。引き続き本校では地域と共に生徒の社会性や公共性を伸ばし、思いやりの気持ち溢れる生徒の育成を目指して、家庭・地域と手を携えて取り組んで参りますので、本校への変わらぬご支援の程、よろしくお願いいたします。